

## 学校を地域にひらき、地域と結びつき、共に子どもをはぐくむ

### コミュニティ・スクールの良さ！

- 1 学校を開く…「学校情報」をこれまで以上に積極的に発信する
  - ・学校だより等の積極的な情報発信（学校間、幼児教育施設、図書館郷土資料館）
  - ・公開方法の工夫（ホームページ、安心メール等）
- 2 小中一貫教育の視点
  - ・地域で目指す子どもの姿を小・中学校と地域で共有する（熟議の工夫）
  - ・具体的な活動の推進（合同避難訓練、家庭学習強調週間の同時実施等）
  - ・学校は経営計画での位置づけをする
- 3 安心安全な登下校や学校生活等
  - ・登下校の見守り（パトロールボランティア活動など）
  - ・巡視活動（育成委員会、PTA活動との連携）
  - ・一日防災学校（避難訓練など）の協力や合同実施
  - ・「あいさつ運動」の実施



#### 4 学校をサポート

- ・教科指導援助（体育指導や見守り、和楽器指導、家庭科指導、道徳指導等）
- ・施設見学や職場体験への協力
- ・地域行事への参画
- ・PTA活動との連携
- ・写生会の実施
- ・部活動の地域移行



### より充実した結びつきを！



学校を支える活動は、コミュニティ・スクールだけではありません。PTAは、保護者と教師（学校）が子どもたちのために環境整備や見守り活動など色々な場面で学校を支援しています。パトロールボランティアの活動も見逃せません。また、厚賀町育成委員会は、コミュニティ・スクールが目指している「共に子どもをはぐくむ」活動に積極的に取り組んでいます。さらに、職業体験学習や写生会などの様々な教育活動にご協力いただいている地域の方々があります。私たち大人は、子どもたちの成長を支えながら、自らも学び続けることで充実した人生を過ごすという「生涯学習」の理念を具体的な活動に結び付けることができたいと思います。